



丹 邱 学 舎

「志をもち 自ら学び 共に高め合い たくましく生きぬく 西溪っ子」の育成

第2号 R5. 5. 2発行 文責 大島和子

風薫る5月となりました

5月になり、山々の新緑がまぶしく感じられる季節となってきました。校舎の玄関にも、季節を感じるアザミの花や掲示物等が飾られています。1年生も学校生活に慣れ、今日は、2年生の案内で学校探検を行っていました。1年先輩の2年生



が、1年生に一生懸命に説明している姿は大変微笑ましいのと同時に、頼もしさも感じました。来年は、同じように2年生になった今年の1年生が立派に案内役を務めてくれると思います。



<季節を感じさせる玄関内の一角>

<2年生が1年生に説明した後、スタンプを押しているようす>

1年生を迎える会を行いました

4月21日（金）に児童会主催の「1年生を迎える会」を行いました。6年生の運営委員会が企画し、当日の進行も行いました。1年の自己紹介やすこやか班（縦割り班）ごとの2～6年生の自己紹介をしたり、各学年が考えたプレゼントを渡したりしました。



<迎える会を進行する運営委員会の児童>

その後、「じゃんけんしっぽ渡しゲーム」を行いました。その内容は、1年生とじゃんけんをして、1年生が勝ったら2～6年生は、自分のしっぽを渡し、もし2～6年生が勝ったら、しっぽは渡さずに、1年生を励ます言葉（例：だいじょうぶだよ。がんばって。応援しているよ。など）かけをするというものでした。ゲーム中は、みんな笑顔で、相手を思いやる言葉があふれた楽しい時間を過ごすことができました。



<しっぽ渡しゲームのようす>

また、1年生教室の廊下には、2～9年生からのお

祝いのメッセージが掲示されています。西溪校全員で1年生を歓迎しました。



<各学年からの1年生へのメッセージ>

春季釈菜に参加しました



<6年生の腰鼓のようす>

4月18日（火）に、春季釈菜に参加しました。

当日は天候にも恵まれ、8年生の「釈菜の舞」、6年生の「腰鼓」、2～5年生の「唱歌」で参加しました。今年は、久しぶりに境内での披露だったため、緊張した面持ちで参加している児童生徒が多くいましたが、これまでの練習の成果を十分に披露してくれました。

秋季釈菜に向けては、6年生が5年生を指導し、自分たちの手で伝統を受け継いでいきます。5、6年生が協働して素晴らしい腰鼓を披露してくれることと思います。

多久市アート企画展

「かんさつ視点 池田学とどうぶつたち」を見学しました

4月28日（金）、3～6年生で、多久市アート企画展に見学に行きました。

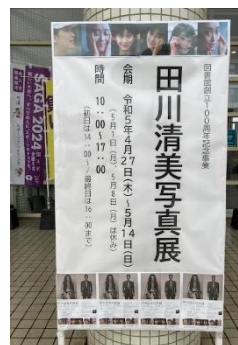
多久市出身の画家、池田 学さんの「動物画シリーズ」51作品や「マディソン日記」シリーズ6作品等が展示されており、子どもたちは、時間いっぱい熱心に鑑賞し、ワークシートに一生懸命に取り組んでいました。動物画を見る際には、虫眼鏡を用いて細部まで鑑賞し、細かな描写に感心していました。企画展の担当の方からは、「とても熱心に鑑賞されていましたね。素晴らしいですね。」という言葉いただきました。

校内には、事前学習のワークシートが掲示されています。素晴らしい作品（もの）や人との出会いは、子どもたちの心を育てていくということを実感しました。



<玄関横に掲示された事前学習のワークシート>

多久市出身の写真家 田川 清美さんの写真展も今月14日まで中央公民館で開催されています。田川さんは、西溪校の前身である旧中部中学校出身です。写真集「肉体温度」に収録された作品の特大パネル24点と、夏目雅子さんの素顔を写した作品25点が展示されています。よろしければ足をお運びください。



お願い

不用になった西溪校の制服がございましたら、学校にお譲りください。学校にお持ちいただくと大変助かります。特に、150cm以上のスカートがあるとうれしいです。よろしくお願いいたします。